

单元名	住まいの役割と安全な住まい方	配当時間	6 時間
单元の目標	<p>(1) 家族の生活と住空間の関わりと住居の機能，家族の安全を考えた住まい方について基礎的・基本的な知識と技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。</p> <p>(3) よりよい住生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について課題の解決に主体的に取り組み，改善し，工夫し実践しようとする。</p>		

標準的な展開例

15290107_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど				
<p>1 住まいの役割を考え、学習課題をつかむ。</p> <p>★住まいの役割や特徴を考え、家族の生活との関わりを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住まいの役割について話し合う。 ○生活行為と住空間について調べる。 ○自分の家族に合った住空間の構想を考える。 <p>2 住まいと気候風土との関わりについて考える。</p> <p>★和式の住まいの特徴を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○和式の住まいの特徴を知り、現代にも受け継がれていることを理解する。 ○日本各地の住まいと住まい方の特徴をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・気候風土や文化による違い <p>3 健康で快適な室内環境について考える。</p> <p>★室内環境を快適にする方法を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○室内環境の条件について復習する。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・明るさ</td><td style="width: 50%;">・温度</td></tr> <tr> <td>・湿度（カビ、ダニの発生）</td><td>・音 等</td></tr> </table> ○快適な室内環境を整える方法を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・室内の換気 ・音の工夫 <p>4 住まいの安全について考える。</p> <p>★家族が安心して暮らせるように工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭内の事故の種類とその原因を調べる。 ○家庭内の事故を防ぐ方法を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族が安心して暮らせる住まい ・バリアフリー ・ユニバーサルデザイン <p>5 災害に備えた住まい方について考える。</p> <p>★住まいの災害対策を工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○起こりうる自然災害に対して、災害に備えた住まい方を考える。 ○家族みんなが安全に住むために、自分にできる工夫を考え、家庭実践の計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策 	・明るさ	・温度	・湿度（カビ、ダニの発生）	・音 等	<ul style="list-style-type: none"> ・住空間と生活行為との関係を理解させ、家族がどのような生活を重視するかで住まい方が異なることに気付かせる。 ・写真、雑誌、広告など、さまざまな住まいの例を具体的に提示し、住まいに関心をもたせる。 ・住宅に関する鳥瞰図のような図を活用して住空間を想像しやすくし、住空間と生活行為との関わりを具体的に考えさせる。 ・家族そろっての時間を重視したいなど、どのような生活をしたいかをイメージさせるとよい。 <p>【評】住居の基本的な機能について、家族の生活を住空間との関わりについて学ぶ活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいや住まい方は気候風土や文化によって異なり、日本国内でも違いがあることに気付かせる。 ・和式の住まいと洋式の住まいの特徴を比較するなどして、和式の住まい方が現代にも受け継がれていることを理解させる。 ・日本各地の特徴ある住まいを紹介する。 <p>【評】住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内の空気の汚染が及ぼす影響を取り上げ、室内環境を整える必要性に気付かせ、改善方法を考えさせる。 ・小学校で学習した快適な室内環境（明るさ、温度、湿度、音）の整え方を確認し、さらに化学物質、一酸化炭素、カビ、ダニなどによる室内空気の汚染について、調べさせる。 ・人工的な方法に頼りすぎない工夫を考えさせる。 ・教室を自宅と想定して、換気や音に関わる実験や実習を行うと効果的である。 <p>【評】室内の空気環境など、家族の安全を考えた住空間の整え方について話し合う活動を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の具体例から、安全管理の方法を考えさせる。 ・幼児や高齢者などさまざまな年齢で構成される家族みんなの目線に立つことの重要性に気付かせる。 ・室内の写真や住空間の図などから危険な箇所を考えさせたり、過去の災害の例から必要な備えを検討させたりするとよい。 <p>【評】家庭内事故の予防方法を話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の特徴を知らせ、住まいの災害対策を具体的に考えさせる。 ・幼児や高齢者などさまざまな年齢で構成される家族みんなの目線に立つことの重要性に気付かせたい。 ・計画を基に実践した内容について、レポートを提出させたり、ポスター形式の発表をさせたりするなど、工夫した報告をさせる。
・明るさ	・温度				
・湿度（カビ、ダニの発生）	・音 等				

- ・火災対策
- ・防犯対策

- 6 持続可能な住生活を目指して、自分の考えをまとめる。
- ★家族が暮らしやすい住まいを工夫しよう。
- 自分の住まいや家の周囲の様子について気になる点を発表する。
 - ・整理整頓
 - ・汚れ
 - ・日差しの強さ
 - 中学生ができる解決方法を考える。
 - 家族が心地よく住むために、家庭実践の計画を立てる。

- 【評】自然災害への備え方などについて、話し合いを基に家庭実践計画を立てる活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・具体例を挙げて、持続可能に住まうためにできることを考えさせる。
 - ・環境に配慮した住まい方を発表させる。

- ・計画を基に実践した内容について、実践報告書に結果や考察を書かせ、教室掲示の形で発表させるなど工夫し、報告させる。
- ・長期休業などを利用して、実践を継続させてもよい。

【評】よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】